

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

## ワクチン接種率

50歳代	1回目	16.7%
	2回目	9.6%
60歳以上 64歳未満	1回目	28.7%
	2回目	9.4%
65歳以上	1回目	80.8%
	2回目	75.8%
総数全体 (12歳以上)	1回目	42.2%
	2回目	36.8%

8月20日現在

**問** 年別のワクチン接種率は。【福祉部長】  
左記のとおり。

**答** 市民に接種券が確実に届くようにチェック体制を強化するほか、ホームページなどで接種券の発送状況を周知したいと考えています。

**問** 新型コロナウイルスのワクチン接種券の発送漏れがあり、市は早急に対処したが、市民が発送状況を確認できるようにホームページなどで周知してはどうか。【市長】



いつわかい なりた かつこ  
五和会 成田 克子

●適切なワクチン接種の運用を

**問** 集団接種において、キャンセルが生じた場合の対応は。また、ワクチンを廃棄処分したケースはあったか。【福祉部長】

**答** キャンセルが生じた場合のワクチンの取り扱いについては①接種業務に関わる医療従事者②高齢者等介護事業所従事者③接種業務に従事する市職員の順に接種して対応しており、あわせて、8月からはキャンセル待ち登録を実施していますが、キャンセル分への接種者が見つからず、現在までにワクチン7回分をやむを得ず廃棄しています。

**問** ワクチン接種の2回目終了時期と3回目の接種時期は。【福祉部長】

**答** ワクチンの接種率が8割程度であれば、11月末までの終了を見込んでいます。3回目の接種については、国から示されていませんが、接種が可能となった際は早期に対応できるように準備してまいります。



いつわかい はせがわえいこ  
五和会 長谷川 榮子

●世界文化遺産登録となった2遺跡の活発なPRを

**問** 亀ヶ岡石器時代遺跡と田小屋野貝塚が世界文化遺産に登録され、観光客が徐々に増えてきているが、現地に行くまでの案内看板がほとんどないため、不便だという声を聞く。簡単に現地に行けるように道路に分かりやすい案内看板を設置できないか。【教育部長】

**答** 県が設置した観光用の案内看板が4基ほど設置されていますが、世界遺産の表記はなく、案内としては不十分な状況となっています。多方面からの来訪者に対応できるように案内看板を来年度に設置できるよう関係機関と協議、調整してまいります。

**問** 遺跡の案内所の設置は考えているか。【教育部長】

**答** 現地にある遺跡案内所以外の設置は考えていません。市内の各施設に遺跡に関するマップなど設置し来訪者の利便性向上および周知に努めたいと考えています。

**問** 市内の施設に限らず、近隣の市町にも観光マップやパンフレットを設置して遺跡のPRに努めてはどうか。【教育部長】

**答** 議員ご提案のとおり、近隣の施設に観光マップなどの設置を依頼するほか、市職員が遺跡について簡単に説明できるよう職員研修を実施したいと考えています。

**問** 遮光器土偶のゆるキャラを作成してつがるちゃんと一緒にPR活動してはどうか。【市長】

**答** マスコットキャラクターの目的は、つがる市を知ってもらうことだと考えており、世界文化遺産登録がされた今となっては遮光器土偶のマスコットキャラクターを使う時期は経過したのではと考えています。世界遺産の決定により構成資産である2つの遺跡が本市に所在することは認知されているため、観光客をどう呼び込むかを考えていきたいと思っています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



たかし 孝志  
さとう 佐藤  
きしんかい 絆心会

## ●市長公約の具体的な内容は

**問** 市長公約の中で農作業の省力化を確立させるためにはスマート農業の普及が必要条件としているが、どのようにしてスマート農業を普及させていく考えか。

**【市長】** 農業従事者の高齢化や労働力不足など課題のある中、農業に魅力を感じてもらおう施策として市単独事業でスマート農業機械の導入を推進し、GNSS基地局を利用する農業機器やスマート農業機械購入の一部を補助します。スマート農業機械の導入により、労働力不足を解消するほか、農作業の効率化や省力化が期待されます。

**問** 若年夫婦子育て世帯の移住、定住をどのように推進していくのか。

**【市長】** 子育て若年夫婦世帯移住応援事業では民間賃貸住宅家賃の一部を補助し、マイホーム応援事業では家の新築または購入する移住世帯に費用の一部を補助しており、今年度からは上限額を50万円から100万円

に拡充したほか、新婚生活スタートアップ事業では40歳未満の新婚夫婦を対象に新居にかかる住宅購入費など引越越し費用の一部を補助しています。これらの施策により、平成28年度からの5年間で111世帯、307人の方が移住しています。実施している事業を継続しながら今後も移住、定住の推進に努めていきます。

**問** 牛潟バイパス工事の状況は。

**【市長】** 牛潟バイパス工事については県に要望し、令和元年度に事業採択となりました。詳細設計や地質調査等の結果、軟弱地盤の改良に膨大な事業費がかかるため、ルートを再検討し、年内には新しいルートを示した地元説明会を予定しています。

**問** 市街地の活性化とあるが、どこを考えているか。

**【市長】** 旧木造町の有楽町、千代町の2商店街を考えています。

**問** 蓮花田橋の現状と原因は。また、今後の復旧計画は。

**【建設部長】** 蓮花田橋は昭和53年架設の橋長13・4メートルの橋で鋼管基礎杭が剪断し、令和3年3月に沈下が確認されました。原因は水位の干満により乾湿を繰り返す、鋼管が腐食したものと考えています。復旧については、仮橋を今年中に設置し、来年度から本橋の建設と沈下した橋の撤去を計画しています。

**問** 橋梁長寿命化による調査状況と結果はどうであったか。

**【建設部長】** 平成28年度と令和元年度に行った点検調査では市道に架かる橋169橋のうち、修繕が必要な橋は51橋あり、12橋の修繕工事を完了しています。今後も年間4橋程度の修繕工事を継続的に実施し、健全化を図ります。

**問** 市のハザードマップには地震、津波の災害時に海水が川を遡



あきた やたてゆき  
秋田谷 建幸  
いつわかい 五和会

## ●災害を予見した準備を

る河川遡上について表記しているか。

**【総務部長】** 津波による遡上は木造出来島地区の石沢川を想定し、ハザードマップに掲載されていますが、今年5月に公表された県の津波浸水想定において、新たに十三湖から山田川への遡上が想定され、富苑町の山田川流域の水田地帯の一部が50cm以上1m未満の津波浸水想定区域として追加されたため、令和4年3月改定予定である新しいハザードマップに掲載して周知していきます。

**問** 子どもの水難事故を防止するため、ライフセーバーを活用して水辺で安全に遊ぶための知識や技術を学ぶ教室を小学校で開催できないか。

**【教育部長】** ライフセーバーを活用した学校での授業は各学校の判断となりますが、教育委員会から各学校に対し、授業に協力できるライフセーバーに関する情報提供は可能と考えています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

## 問 世界遺産となった縄文遺跡群の今後の展開は。

【教育長】

世界遺産は人類共通の財産として恒久的な保護を前提に遺跡と周辺景観を保全する必要があります。具体的には①土地の公有化を推進②遺構表示や説明板の設置等により遺跡の内容を解説③地下にある遺構、遺物や遺跡の価値を理解してもらうため、ガイダンス施設を整備④現地で遺跡を説明するボランティアガイドの増員および養成⑤当時の景観などを映像再現するICT機器などの活用を考えています。なお、ガイダンス施設等整備の前に遺跡の整備基本計画を策定する必要があり、令和4年度から2か年を予定しています。また、教育現場において、市内児童生徒に対する体験講座や出張講座を引き続き行うとともに、今年度から始めている郷土学の共通教材として縄文遺跡に関する副読本を制作し、若い世代から縄文遺跡への理解と郷土への誇りの醸成に努めたいと考えています。



いとう 良二  
伊藤 良二

- 縄文遺跡群の今後の展開は
  - 総合体育館の活用方法は
  - PCR検査費用助成の申請状況は
- など

## 問 (仮称) 総合体育館の活用方法は。

【教育部長】

総合体育館の活用に関しては利用料金などを含め、運営検討委員会で議論を重ね、今後は運営検討委員会の意見等を踏まえながら、スポーツ利用に限らず、様々な催し物にも大いに活用してもらえようような施設運営をしたいと思っています。

## 問 新型コロナウイルス感染症対策としてPCR検査費用の助成をしているが、申請状況は。

【福祉部長】

PCR検査等費用助成事業は今年度から実施しており、福祉施設内または施設関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認された場合、行政検査の対象にならずに任意で受ける検査費用の一部を助成するもので1施設から申請があり、検査件数は10件で助成額は1万4000円となっています。

## 問 ナラシ対策の新規加入状況は。

【経済部長】

令和3年の加入者845人のうち、新規加入者は65人となっております(7月末現在)、収入保険に移行した農業者がいるため、ナラシ対策の加入者は昨年度より減少しています。

## 問 ナラシ対策によって価格補償の基準となる米価は幾らか。

【経済部長】

農林水産省により告示された津軽地区の標準的収入額(10aあたり13万8448円)より令和3年度の農業収入額が下回った場合、その差額の9割が補てんされます。農業収入の算定は収穫した年度の3月31日までのまっしぐらとつがるロマンの相対取引価格となっているため、現段階では回答できかねます。

## 問 ナラシ対策の補てんが行われるのはいつか。

【経済部長】

これまでの例では翌年の5月下旬に津軽地域の当年産の標準的収入額が告示され、ナラシ対策の適用



わたる 渡  
わたる 渡

- ナラシ対策の補償概要は
- 住民票のコンビニ交付は可能か

の可否が分かります。その後、6月下旬頃に農家に補てん金が交付されています。

## 問 利便性向上のためにコンビニで住民票を交付できないか。

【民生部長】

本市では本庁および各出張所において、証明書等を交付しており、つがる出張所においては土日祝でも19時まで(年末年始除く)対応しています。コンビニ交付を実施した場合、システムの構築等に伴う初期費用は約6000万円となるほか、年間1000万円以上のランニングコストがかかるため、マイナンバーカードの普及率や窓口の効率化、他市町村などの状況を注視しながら総合的に検討したいと思っています。

## 問 マイナンバーカードの普及率向上のための取り組みは。

【民生部長】

広報による周知のほか、市民課において、閉庁日(月一回程度)にマイナンバーカードに関する窓口を開設しています。